

子育て支援定住促進住宅整備及び富河地区ランプエリア構想に対するご意見への回答

追加 令和7年8月29日現在

子育て支援定住促進住宅整備について

- ・県営住宅の入居率が低いのは、公営住宅法上の要件が別途定められているため、収入要件等で入居制限がされてしまうことが考えられます。
- ・家賃設定は、グリーンハイツ富士見よりも高い設定が予想されますが、入居要件や減免措置等は同等の内容を考えていますので、HP等でご確認ください。
- ・もちろん入居者の利便性は考慮いたします。
- ・建設費用は、以前よりも格段に高騰していることは承知していますが、10億かかるとは想定していません。

子育て支援定住促進住宅整備場所について

- ・良い点、悪い点含めてトータルで判断すると、立地条件は非常に良い場所だと考えています。

南部町富河地区ランプエリア構想について

- ・整備が実現する場合には「構想への要望」を十分に検討して整備いたします。
- ・次へのステップアップとして、町の宅地分譲や空き家等を活用して戸建てを購入していただき、個々に合った立地の場所へ定住していただければと考えています。
- ・箱物といっても本事業では、集合賃貸住宅ですので、他の箱物施設とは異なり、毎月の収入が得られることとなります。管理費や将来の解体費等の蓄えは、ある程度できるものと考えます。
あくまでも一例ですが、家賃5万円、入居率60%とした場合の30年間の収入が、216,000,000円となります。(50,000万×20世帯×0.6×12か月×30年)
- ・三世代交流防災広場は、ある程度の仮設住宅建設が可能なスペースとして確保するものがあります。
- ・3on3バスケットコートは、三世代交流を目途としているため、人数性別問わず幅広く手軽にできるものとして組み込んでありますが、特に必須ではありません。
- ・整備する段階になった場合は、遊具等の設置も、希望の聞き取り後、検討すると思われま